

全国協議会 ニュース

発行所
 特定非営利活動法人
 全国骨髄バンク推進連絡協議会
 〒160-0005 東京都
 新宿区愛住町23-1
 Woody21-9階
 TEL. (03)3356-8217
 FAX. (03)3356-8637
 発行責任者:品川 保弘
<http://www.marow.or.jp/>
 E-mail:office@marow.or.jp

郵便振替口座
 00150-4-15754
 銀行口座
 三井住友銀行 新宿通支店
 普通 5666655

財団余剰金について要望書提出

10月6日骨髄移植推進財団は臨時理事会、評議員会で平成16年度の補正予算を承認しました。これによると、一般会計では上半期の予算の執行状況から見直しを行い、一方で、職員給与を見直すなど支出のきり詰めを行っています。そのため、新たな事業を計画してはいるものの、次年度への繰越金は3月に承認された予算を大幅に上回る3億3千5百万円となる見込みです。

また、国際協力事業特別会計では海外への提供が多く、輸出超過による収入増にともない、次年度への繰越金が1億2千万円になる見込みです。

財団ではこれらの余剰金の扱いについて、①取り崩した基本

財産への積戻し、②患者負担金の軽減、③将来への投資に使うことを決めており、常任理事会の下に財務・運営に関する検討会議を設けて検討に入っています。

全国協議会では、患者支援の立場から、患者負担金の軽減(特

●繰越金額

〈一般会計〉

昨年度からの繰越金	276,650千円
H16年度の収支差額見込み額	58,567千円
次期繰越金	335,217千円

〈国際協力事業特別会計〉

前年度繰越金	107,108千円
H16年度収支差額見込み額	13,345千円
次期繰越金	120,453千円

〈患者負担金等支援基金特別会計〉

前年度繰越金	59,857千円
H16年度収支差額見込み額	▲41,494千円
次期繰越金	18,844千円

にもっとも過重な負担を強いられる上に昨年の値下げの恩恵を受けなかった平成14年度の患者さんの負担分)を第一とするよう要望書を提出しました。今後の動きをみなさんにも注視していただきたいと思っております。

財団法人 骨髄移植推進財団
 理事長 高久 史麿 殿

2004年10月20日

特定非営利活動法人
 全国骨髄バンク推進連絡協議会
 理事長 品川 保弘

次期繰越金の処理について(要望)

貴職におかれましては益々御清栄のこととお慶び申し上げます。
 さて、過日、貴財団の臨時理事会、評議員会において承認された平成16年度補正予算において、次期繰越金が非常に多額になることが判明しました。貴財団においてこの処理についてご検討されていることと存じますが、骨髄移植には他の医療には見られない多額の患者負担金が存在しており、同じ造血幹細胞移植であるさい帯血移植においては患者負担金が存在しないことを鑑みても、この負担金は患者さんにとってあまりに過重なものです。

また、平成14年度に患者負担金を値上げし、昨年度から診療報酬改定を考慮した値下げが行われましたが、かつもっとも過重な負担を強い平成14年度の患者さんに対してはなんら救済措置が取られていません。多額の次期繰越金は、貴財団の自助努力もさることながら、この時期の患者負担金に負う部分が決して少なくはないものと推察致します。年度を越えた救済が会計処理上困難であると存じますが、貴財団の事業が患者救命の理念に立つことを踏まえ、特段の措置をお願いする次第です。

つきましては、患者支援の立場から下記事項について要望いたしますので、今後の事業運営に十分配慮くださいますようお願い申し上げます。合わせて下記事項につき文書での回答を要望致します。

記

- 1 次期繰越金を、患者負担金の軽減に充当すること
- 2 次期繰越金を、平成14年度の患者さんが課された患者負担金の一部を還元する原資にすること
- 3 国際協力事業特別会計の次期繰越金を、いままでは海外からの提供を受けた患者さんに対して何らかの方策で還元するよう検討すること

以上

全国協議会役員立候補受付開始 第3回役員選挙を告示

全国協議会の第3回役員選挙に関して、品川保弘理事長より選挙管理委員の委嘱が行われ、10月22日に第1回選挙告示が行われました。

第3回役員選挙のための第1回選挙告示

2005年度および2006年度役員選挙の選挙を行います。「役員選挙規程」並びに「選挙細則」に基づき下記の通り告示します。

2004年10月22日
 選挙管理委員長 梅田正造

1. 選挙管理委員会

委員長:梅田正造
 副委員長:橋本正成
 委員:橋本祐治、新田恭平、鈴木紀子
 以上5名

2. 役員任期

2005年7月1日～2006年6月30日

3. 役員の数

会長1名、副会長3名、理事16名(正会員の推薦を要する理事10名、推薦を要しない公募による理事6名)、監事3名

推薦を要する理事の地区定数
 北海道1名、東北1名、関東甲信越2名、東海北陸1名、近畿1名、中国2名、九州2名、計10名

4. 選挙日程

第1回告示:2004年10月22日(金)

- * 立候補受付開始、届出書等配布
 立候補届出締切:2004年12月20日(月)
 第2回告示:2005年1月31日(月)
- * 立候補者最終発表、投票用紙配布
 投票期間:2005年1月31日(月)～2005年3月7日(月)
 開票日:2005年3月13日(日)
 開票結果発表:2005年3月14日(月)

5. 立候補者への注意事項

- (1)必ず所定の届出書に記入して提出して下さい。届出書は選挙管理委員会事務局(TEL:03-3356-8217 FAX:03-3356-8637)に請求するか、ホームページ(<http://www.marow.or.jp/>)からダウンロードして下さい。
- (2)届出書に自署押印の上、推薦書、立候補者の顔写真を同封の上、必ず簡易書留で郵送して下さい。
- (3)立候補者に必要な推薦者(団体)の数は、会長7団体以上、副会長5団体以上、監事3団体以上、推薦理事2団体以上です。但し、公募理事に推薦者は不要です。
- (4)推薦書は、所定の用紙に推薦団体に記入してもらって下さい。用紙は選挙管理委員会事務局に請求するか、ホームページからダウンロードして下さい。

2005年版「ハローキティ・シールカレンダー」・「あやちゃんの贈り物カレンダー」ができました。

毎年好評を得ています「ハローキティシールカレンダー」ですが、今年も一層可愛いデザインで出来ました。例年どおり、裏面は骨髄バンクのPRが書かれています。

また一昨年作成し、ご要望も多かった「あやちゃんの贈り物カレンダー」も作成致しました。一年が一目で分かるB2変型サイズ(685×465)です。あやちゃんが描いた鳥が賑やかに飛んでいます。

お友だちにも紹介して骨髄バンクの応援をして下さい。



【ご注文は】

地域の骨髄バンク支援団体・または「特定非営利活動法人全国骨髄バンク推進連絡協議会」へ
 〒160-0005 東京都新宿区愛住町23-1 Woody-21 9階
 TEL:03-3356-8217 FAX:03-3356-8637 e-mail:office@marow.or.jp

※カレンダーと一緒に振込用紙を送ります。(料金後払い)在庫なくなり次第終了。ご注文はお早めに!

関西骨髄バンク推進協会専務理事・藤岡八重子さん(京都府福知山市在住)が、福祉の向上に尽くした個人・団体を顕彰する、第34回(2004年度)毎月日社会福祉顕彰を受賞され、9月28日に毎日新聞東京本社で贈呈式が行われました。

藤岡さんは次女が「急性リンパ性白血病」を発症したことをきっかけに、骨髄バンク設立運動を開始。全国協議会の設立にも関わり、運営委員、監事を務められました。今回の受賞は長年の活動に加え、アジア太平洋地域の骨髄バンクとの提携にも尽力された功績が認められたものです。

藤岡さんは、現在も精力的に活動を続けられており、「活動が認められてうれしい。すべての希望者がドナーに出会えるよう、今後も広く呼びかけたい」と、心強い抱負を語られています。(山村)

藤岡さんが毎日社会福祉顕彰受賞

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

●9月のドナー登録状況～2,000人台連続9ヵ月

9月のドナー登録者数は2,628人、取消者数は660人、実質増加数は1,968人で前年同月の登録者数を37.2%上回り、登録者実数は19万6733人となりました。これで今年度は連続9ヵ月間月の登録者が2,000人を超えたこととなります。登録者は福島25回(171人)、佐賀12回(44人)、石川11回(23人)、愛知10回(77人)、福井9回(30人)、沖縄9回(151人)のほか、1回の集団登録で埼玉(60人)、岡山(50人)、愛媛(63人)など、計143回実施され(うち献血併行型は131回)、登録者数は合計1,260人でした。

本年9月までに、ドナー登録目標の90万人を登録対象年齢人口

●日本骨髄バンクの現状(2004年9月末現在)

	8月	9月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,361	2,628	196,733	249,614
患者登録者数	200	200	2,661	16,805
骨髄移植例数	62	57	-	5,866

注)数値は速報値のため次月以降に訂正される場合があります。

骨髄バンクNOW

で試算した都道府県別の目標登録数には、沖縄県、新潟県、島根県、福島県が到達しています。今月も福島と沖縄における登録会の回数と人数は、ともに記録的な数字となっています。

●11月22日、チャリティーコンサートを開催します

ピアニストの南野陽子さん、陳瑞斌(チェン・レイビン)さんのご厚意により、日本骨髄バンクの発展と日本と台湾のさらなる協力を図るためのチャリティーコンサート「音楽と心の贈りもの」が11月22日(月)に東京・紀尾井ホールで開催されます。コンサートの収益金は、日本と台湾の両バンクに寄付されます。お問い合わせは「日本骨髄バンクチャリティーコンサート実行委員会」(財団事務局:03-5280-8111)まで。

骨髄バンクボランティアダイヤル
 フリーダイヤル
 0120-892-106

第45回

理事会報告

10月17日・全国協議会事務局

〈9月会計報告〉

- 名義後援、承認案件
- 全国協議会財政危機に関する対応について
- 白血病患者支援募金箱 今後の取り組みについて
- パチンコ捨て玉寄付全国展開について
- 日赤対応
- 全国協議会15周年事業について
- 第3回役員選挙について
- 第2回合同公開フォーラム開催

〈報告事項〉

- 財団委員会報告
- 2005年カレンダー作成について
- 準会員制度について
- JST助成金申請の件
- 日本造血細胞移植学会発表

催しについて

- さい帯血バンクNW第三者評価提案について
- 専従事務局員下期賞与支給の件
- ポスター作成について

日本さい帯血バンクネットワーク5周年大会 「明日に向かって」開催

日本さい帯血バンクの5周年記念大会が10月16日に東京ビッグサイトで開かれた。第一部では、全国の採取病院スタッフが集まった情報交換会が行われ、採取の現場からの様々な意見が出された。

午後からの第二部からは一般参加者も出席しての記念式典があり、式典の最後には漫画家や作家の氏々のデザインにより作られたシンボルキャラクターの愛称の発表がありました。9月から一般公募され、1026通の応募の中から選ばれた愛称は「さずなちゃん」。今後、ホームページをはじめ、さい帯血バンクの様々な場面で活躍することでしょう。命名者の24名の中から抽選で市原市在住の女性に、記念品のさずなちゃんの原画、

アンパンマンの原画が贈られました。

第三部では、これまでの事業報告と、今回初めて各バンクから提供されたデータを元に、さい帯血バンクとしての移植成績報告が行われました。

その後、高齢者のさい帯血移植が積極的に進められている虎ノ門病院の宮腰重三郎先生からの現状報告と、実際に移植をうけて元気になられた元患者さん2名と主治医でもある谷口修一先生によるシンポジウムが行われました。

59才と69才の元患者さんは、とても半年前に移植を受けたとは思えないほど顔色もよく元気で、ミニ移植の絶大な効果を見せつけられた思いでした。(木村)



いんにちは募金箱 その6

（福井県福井市）
（兼オカダエンタープライズ）

の端玉、コインでも受け付けております。

現在、各店舗には多くのお客様が来店され、皆様から多くの善意の募金とご理解をいただいております。

社員はこうした活動を通じて微力ながらも基金のお役に立てることを喜ばしく感じています。今後もより多くの皆様の善意を肌で感じながら活動を行っていきたく思います。(岡田美穂)

当社は福井県内に7店舗、高山に1店舗のパチンコホールを営んでおります。「地域の皆様に愛されるお店」をモットーにしています。福祉活動の一環として「白血病患者支援基金」の募金箱設置を行うことになりました。パチンコ店ということもあり、募金の受付はお客様から



店内に設置された端玉、コインの募金箱

心からのご寄付に 感謝申し上げます

9月21日～10月18日

㈱タクトコーポレーション	現金	30,000円
塩谷圭	現金	1,000円
飯島孝枝	現金	1,000円
田島香雪	現金	1,000円
岡野真由美	現金	202円
匿名	現金	351円
菊水酒造株式会社	現金	500,000円
(株)川越青年会議所	現金	7,887円
松尾元春	現金	30,000円
北海道骨髄バンク推進協会		
札幌支部	現金	50,000円
匿名	現金	8,205円
広島市民大学講座	現金	70,000円
竹島香	現金	300,000円
鈴木智子	現金	21,150円
金剛毅	現金	20,000円
小川公崇	現金	50,000円
米倉正子	現金	5,000円
愛住町町会	現金	22,481円
岡野一馬	現金	10,000円
櫻井康司	現金	30,000円
●佐藤さち子患者支援基金		
飯島孝枝	現金	1,000円
北海道骨髄バンク推進協会		
札幌支部	現金	50,000円
牧野礼男	現金	4,000円
小川公崇	現金	10,000円
●白血病患者支援基金・募金箱		
渡辺材木店	現金	4,369円
伊藤博康	現金	2,012円
フジ北条店	現金	2,256円
さくら薬局白金台店	現金	3,000円
㈱丸広百貨店川越店	現金	22,062円
ビューテールハウスドリーム行田店	現金	3,434円
珈琲店 道草	現金	1,731円
勝保正二	現金	6,587円
武田聡美	現金	1,094円
亀有駅前郵便局	現金	3,000円
北海道骨髄バンク推進協会		
札幌支部	現金	50,000円
●あやちゃん基金		
小川公崇	現金	10,000円

活動資金の拠出をお願いします

銀行口座
三井住友銀行 新橋通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会

各地の あなたより

各地のたよりを
写真を添えて
お寄せください。

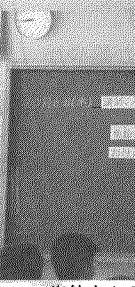
山形 ふれ愛講演会

9月26日、当会の一大事業「骨髄バンクふれ愛講演会」が山形テルサで開催されました。基調講演では、「大病した時ほど弱気になるな」と題して、がんを告知された時の衝撃から、家族愛、病氣と闘うための心構えなどを、元チェッカーズの高全禎彦さんにお話しいただき、その後高全さんと大谷貴子さんの対談が行われました。

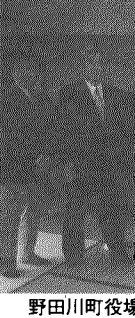
パネルディスカッションでは、骨髄移植を受けた元患者と骨髄ドナー、移植医、若者代表、ボランティアとして高全氏に登壇いただき、「救える命があります。今、あなたにできること!」について、話し合っていました。

静岡 中学校の授業で講演

浜松市南部中学校より、道徳「生命の大切さを学ぼう」ということで依頼を受け、白血病で娘さんを亡くした乗松広子さんと、ドナー体験者河野貴子さんのお話を、1年6組の生徒さんに聞いて頂きました。生徒の皆さん一人一人とても真剣な表情で、質問もたくさん出てきました。最後に生徒さんより「私も20歳になったら提供したい」と合う人がいたら提供したいと今



貴重な体験も聞けたパネルディスカッション

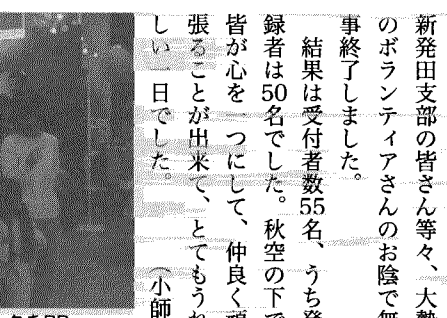


生徒さんの前で熱心に話す乗松さん

日思いました。」という暖かい言葉を頂きました。命の大切さ、自分が今生きているということを考えてもらえたのではないのでしょうか。私たちを招いてくださった校長先生に感謝です。(武内)

●推進月間特集

9月28日、野田川町役場において、献血併行型登録会が行われました。この日は宮津ライオンズクラブ様より登録会用の看板を頂き、贈呈式も行われました。宮津ライオンズクラブ様には、贈呈式後も啓発をして頂き、本当にお世話になりました。登録会は予約なしでスタート

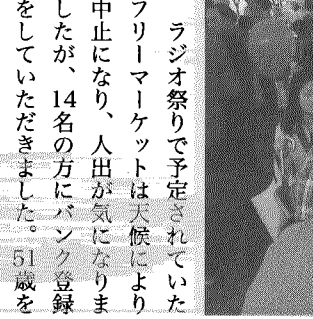


野田川町役場の登録会での贈呈式の模様

10月3日、宮津インフェスティバルでは、登録会単独でしたが、登録者は14名でした。天候も悪く、場所（ブリス）もありまいり所ではなかったのですが、よい結果で終わることができました。また次回の登録会もがんばります。(安田)

●新潟

10月17日に、新潟県下越地区の中心地である新発田市の商店街ビオ21でドナー登録会が行われました。会場ではガス展が行われ、いつもの倍以上の人数で賑わいました。好青年扮するアンパンマンや、青年会議所のメンバー、そして医師、看護師、新発田支部の皆さん等々、大勢のボランティアさんのお陰で無事終了しました。



アンパンマンも骨髄バンクをPR

結果は受付者数55名、うち登録者は50名でした。秋空の下で皆が心を一つにして、仲良く頑張ることが出来て、とてもうれしい一日でした。(小師)

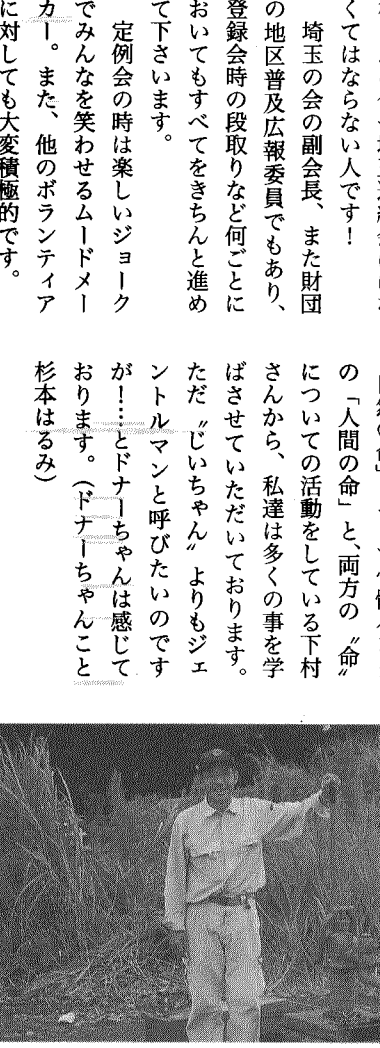
「田んぼのじいちゃん」こと下村さんは今や埼玉連絡会にはなくてはならない人です!

埼玉の会の副会長、また財団の地区普及広報委員でもあり、登録会時の段取りなど何ごとにおいてもすべてをきちんと進めて下さいます。

定例会の時は楽しいジョークでみんなを笑わせるムードメーカー。また、他のボランティアに対して大変積極的です。

田んぼの保全活動を通して「自然の命」、そして骨髄バンクの「人間の命」と、両方の「命」についての活動をしている下村さんから、私達は多くの事を学ばせていただいております。ただ「じいちゃん」よりもジェントルマンと呼びたいのです。……とドナーちゃんは感じております。(ドナーちゃんこと杉本はるみ)

ボランティアの仲間たち



田んぼの保全活動を通して